

マクール杯 オールレディース

宇野弥生が持ち前のスタート力で優勝!!
地元の高田ひかるは節間ノーハンマー

予選道中はその言葉通りノーハンマーを貫き、結果は予選トップ通過。「他の人のペラの方が出るんかな?」と苦笑したが、機力は回り足がトップクラス。ただF2の休み明け2節目ということもあり、節間の平均スタートは0・23。準優勝戦はインから押し切ったが、優勝戦もスタートが最大の課題となった。

もう一人の地元、山下夏鈴。高田のお株を奪う爆伸び仕様で、3日目から白星を積み重ねて予選突破。準優勝戦は4号艇で絶好のカドを手にしてまくりを決めた。地元初優勝を達成したかと思われたが、攻める時にひとつ内の櫻本あゆみに接触。これが不良航法と判定され、山下は賞典除外となった。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	②	宇野 弥生	2	16	1.52.6
2	⑤	深川 麻奈美	5	15	1.56.0
3	⑥	川野 芽唯	6	19	1.56.5
4	③	三浦 永理	3	79	1.58.5
5	①	高田ひかる	1	22	
6	④	日高 逸子	4	18	

2連単 ②-⑤ 5850円 16番人気 差し
3連単 ②-⑤-⑥ 34320円 67番人気

最近はずくりに対しての接触を厳しく取り締まっている。これにめぐずにまくり屋の選手には頑張っしてほしいし、外に厳しすぎるルールも見直してほしいと思う。

さて優勝戦。三浦永理が出遅れ寸前のスタート立ち遅れ。そして高田も2コースの宇野弥生にのぞかれる苦しい展開。それでも何とか先に回ったが大きく飛び、差しに回った宇野が突き抜けて、2月の戸田に続く今年2回目の優勝を果たした。

津 7月26日~31日
WINNER 宇野弥生



安定板がついたけど、下ろした時にいい感じだったので、足は良い状態で行きました。苦手な2コースだったけど、展示で高田(ひかる)さんがコンマ16のFを切っていたので、もしかしたら…の期待はあった。私自身もいいスタートを切れましたね。それに、思った以上にターンで流れてくれたのでラッキーな展開になりました。この優勝は置いておいて、次のレディースチャンピオンに気持ちを入れて頑張ります。

マクール杯 ~まくってちょ~うだい!! ~

まくりが代名詞のベテラン島川光男が
外の攻めをこらえながら先まくりでV!!

尼崎 7月29日~8月2日
WINNER 島川光男



出足がしっかりしていたので、自信を持ってレースに行きましたね。山室選手が前付けにくるのは分かっていたけど、竹田辰也選手までくるとは考えていなかった。1マークで出切ったのでまくりました。自分が若い頃から培ったまくりで勝つことができ良かったですね。パリオリンピックが行われています。メダリストの努力にはかえりませんが、これからも一生懸命レースします。

尼崎のマクール杯は、恒例の「まくってちょ~うだい!!」。まくり勝ちを収めた選手とそのレースが的中したファン(電投キヤンペーン)は抽選で豪華賞品がゲットできるとあって、決まり手の注目度が高い一戦だ。

今回は毎日まくり賞が飛び出し、節間のトータルはまくり12本。まくり賞の抽選も盛り上がり、いつもは肉系の賞品が大人気になるが、今節は意外にもアイスクリームの特選スイーツが大好評。猛暑の影響でアイス人気はすごかった。優勝戦もまくりが決まったのはこのタイトルでは初めてのことだった。

その優勝戦が非常に見応えたっぷり。コース取りから波乱含みで、人気の中心は1号艇の中村晃朋だったが6号艇の山室展弘が前付け策。展示では4号艇の鰐部太空海が単騎で引いたが、本番は伸びる井上大輔と鰐部がダツシユへ。

スタートは中村が後手を踏み、2コースの島川光男がトップSを決めた。スリット手前あたりからグンと加速して1マーク先手取り。5カドから伸びてきた井上も二段まくりを狙ってくるが、島川が慌てず完璧なターンで突き放して優勝を決めた。2着に攻めた井上、3着には波乱の立役者となった山室が入線した。

優勝した島川は通算74度目、尼崎では6度目のV。還暦目前ながら、持ち味を発揮する見事なまくりで決着だった。

優勝戦結果

着	枠	選手名	進入	ST	タイム
1	②	島川 光男	2	15	1.52.1
2	③	井上 大輔	5	17	1.53.6
3	⑥	山室 展弘	4	20	1.54.9
4	④	鰐部太空海	6	19	1.55.2
5	⑤	竹田 辰也	3	17	1.56.4
6	①	中村 晃朋	1	22	1.58.4

2連単 ②-③ 5870円 19番人気 まくり
3連単 ②-③-⑥ 39590円 80番人気